

●当日最大は108センチ



●人数限定でルアーも受付



●走水沖では80センチ級が多かった



●まずはツ抜けを目標にしたい



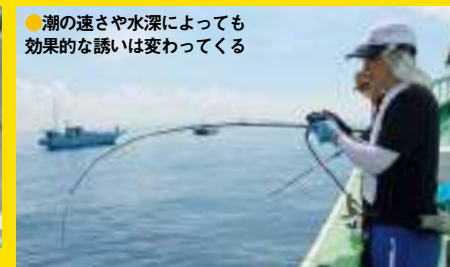
▲秋が深まるにつれ広く色々な場所を探りながら拾っていくパターンになるとか



▲タナはポイントにより海面からだったり海底からだったりするので船長のアナウンスをよく聞いておこう



●釣れたらすぐに海水氷の効いたクーラーへ



●潮の速さや水深によっても効果的な誘いは変わってくる

Technical TENBIN Game
TACHIUO FISHING in TOKYO BAY

東京湾奥川崎出船 テクニカルで面白い！ 東京湾のタチウオも秋本番

●食わせる時の「アツ」が面白く

撮影◎伊井泰洋

▼東京湾のタチウオは食味のよさでも定評がある



●東京湾のタチウオも秋本番の釣れっぷりとなってきた



●この日は海堡周り～走水沖～観音崎沖と各所を狙った



●ハリスを緩めないよう抜き上げよう



●合わせが決まった瞬間が気持ちいい

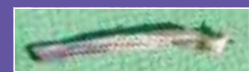
テンビンタチウオの仕掛けとエサ



▲中山丸では状況でオモリ40号、60号、80号を使い分ける



▲付けエサはコノシロ、場合によってはサバを使う



▲縫い刺して真っすぐ付けるのが基本



▲船宿仕掛けはハリス7号全長2メートルの1本ハリ

東京湾のタチウオが好調をキープしている。船によりテンビン、テナヤ、ルアーと様々なスタイルで出船しているが、取材した川崎の中山丸はテンビン専門で出船。釣り場は第二海堡周り、観音崎沖、走水沖など各所を狙っており、ポイントによって指示タナが変わるから船長のアナウンスを聞き逃さないことが肝心。
釣果は60〜70センチ級を中心に80〜100センチ級も交じってトップ30本前後。もちろん釣れ具合はテクニクによっても変わってくる。アタリを出せるかどうか、アタリがあっても掛けられるかどうか、そのムズ面白さがタチウオの魅力だ。
(詳細は58ページ参照)

●仲間と釣果を競い合うのも楽しい



◎東京湾奥川崎・中山丸
中山 勝之船長